studiert.

4. Ich habe eine Tochter und zwei Söhne. Mit der Tochter bin
ゼーネ 倒置
ich schon[2] zufrieden. Aber die Söhne! Ich muß einmal
ツーフリーデン
über sie[3] mit dem Lehrer sprechen. Nicht über die Tochter,
sondern über die Söhne. Ich bin mit der Tochter zufrieden
の倒置

über へに欲しい 4格

逐語訳 1. Die Mutter [その] 母は sie 自分が dringend 至急 ein Wort 1言 mit ihm 彼（=父）と sprechen muß 話さねばならぬ obgleich にもかかわらず den Vater 父を in seiner Arbeit その（=父の）仕事中に stören 妨げることを will. . .nicht 欲しない。

2. Im April 4月に ich 僕は nach Deutschland ドイツへ gehen 行き und そして in Berlin ベルリンで Philosophie 哲学を studieren 勉強する will つもりだ。Aber しかし ich 僕が wirklich 本当に Deutsch ドイツ語を sprechen 話すことが kann できる ob かどうか ich 僕は weiß nicht わからない。

3. er 彼は so viele Bücher それほど多くの本を kaufen 買うことが nicht . . . kann できない obgleich のに，er 彼は sehr fleißig とてもまじめに studiert 勉強している weil から，ich 僕は ihn 彼を einen sehr guten Studenten とてもよい学生だ für と halten 見なさ muß ざるをえない。

4. Ich 私は eine Tochter 1人の娘 und と zwei Söhne 2人の息子を habe 持っている。Mit der Tochter 娘については ich 私は schon もう zufrieden 満足して bin いる。Aber しかし die Söhne 息子達［ときたら］！ Ich 私は einmal 1度 über sie 彼らについて mit dem Lehrer 先生と sprechen 話をしてみ muß なければならない。über die Tochter 娘について nicht ではなく sondern そうで

7. Sie sind krank, alter Mann
クランク アルター
und ich kenne ihn auch
ケンネ イーン アオホ
schreiben, daß er rasch zu
シュライベン ダス ラッシュ ツー

はなくて über die Söhne 息子達に

5. Wir 我々は nun なるほど natürlich 貧しい者達 sein である mögen か 貧しき者達 auch も又 zum Staat 家）は in unserer Not 我々の困難 々に helfen 救助を与える soll reichen Leute お金持の人々を au て aufmerksam 注意深く mache さねばならぬ)。

6. Mein Lehrer 僕の先生が sagt 言 習うべきである［と］。Ich 僕は a 語の辞書を brauche 必要とする etwas 少しばかり Geld お金 Vater お父さん？（だから少し

7. Sie sind krank あなたは病気 guten Arzt 1人の良い医師を 人を auch また persönlich 個 er 彼が rasch 速かに zu Ihr daß ということ［を］, ihm 彼

7. Sie sind krank und ich kenne ihn auch persönlich. Ich will ihm also[9] schreiben, daß er rasch zu Ihnen kommen soll[10].

クランク アルター ヴァイス アールゾ ケンネ イーン アオホ ペルゼーンリヒ ヴィル イーム アルゾー シュライベン ダス ラッシュ ツー

はなくて über die Söhne 息子達について [です]。

5. Wir 我々は nun なるほど natürlich もちろん nur ただ ganz ごく arme Leute 貧しい者達 sein である mögen かもしれない; aber しかしながら arme Leute 貧しき者達 auch も又 zum Staat 国家に gehören 属するのだ, er 彼 (=国家) は in unserer Not 我々の困難において (我々が困っている時には) uns 我々に helfen 救助を与える soll べきである, ja 然り, er 彼 (国家) は die reichen Leute お金持の人々を auf unsere große Not 我々の非常な困難に対して aufmerksam 注意深く machen する muß 必要がある (彼らの注意を呼び起こさねばならぬ)。

6. Mein Lehrer 僕の先生が sagt 言う ich 僕は Deutsch ドイツ語を soll . . . lernen 習うべきである [と]。Ich 僕は also それ故 ein deutsches Wörterbuch ドイツ語の辞書を brauche 必要とする。also だから du 君は (=お父さんは) mir 僕に etwas 少しばかり Geld お金を geben 与えることを Willst 欲するか, mein Vater お父さん? (だから少しお金を下さいませんか)

7. Sie sind krank あなたは病気なのです, alter Mann 老人よ。Ich 私は einen guten Arzt 1人の良い医師を weiß 知っています, und そして ich 私は ihn その人を auch また persönlich 個人的に kenne 知っています。also それ故 ich 私は, er 彼が rasch 速かに zu Ihnen あなたの所へ kommen 来る soll べき [である] daß ということ [を], ihm 彼に schreiben 書いてやる will つもりです。

sollen.

10. Die Tiere, zum Beispiel[13] die Hunde, halten ihr Dasein[14]
ディーレ ツーム バイシュピール フンデ ハルテン イーア ダーザイン
und ihr armes Schicksal für eine ganz natürliche Sache, nur
シックザール フューア ナチューアリッヒェ ザッヘ
die Menschen sind mit ihrem Dasein nicht zufrieden, sie suchen
ダーザイン ツーフリーデン ズーヘン

---

8. Der arme Student [その]貧乏な学生は zum reichen Geschäftsmann [例の]金持の商人のところへ geht 行く und そして ihn 彼を dringend 至急 will. . . sprechen 面談せんと欲する(会いたいと申し込む), aber けれども er 彼(=学生)は natürlich もちろん sehr klug 非常に利口 ist であっ und て seinen Namen 自分の名前を sagt . . . nicht 言わない。Er 彼(=学生)は das Mädchen 女中を [して] nur ただ単に seiner persönlichen Freunde 彼(=商人)の個人的な友人達[のうち]の einer 1人が ihn 彼(=商人)を sprechen 面談することが darf 許される ob かどうか [と] fragen 問わ läßt せる。

9. Der Lehrer 先生は die Studenten 学生達をして sie 彼らが in ihrer Studentenzeit 彼らの学生時代に viele Bücher たくさんの本を lesen 読む sollen べきだ daß と darauf そのことに対して aufmerksam machen 注意を呼びおこす muß 必要がある。

10. Die Tiere 動物ども, zum Beispiel たとえば die Hunde 犬どもは, ihr Dasein 自分達の存在 und と ihr armes Schicksal 自分達の哀れなる運命を für eine ganz natürliche Sache 1つのごく当然なることがらだと halten 見なしている, nur ただ die Menschen 人間ども [のみ] が mit ihrem Dasein 自分達の存在についてsind . . . nicht zufrieden 満足していない, sie 彼ら(=人間ども)は andere Möglichkeiten 他の [多くの] 可能性を, eine andere Gesellschaft 1つ

アオホ ベハオプ
andere Wahrheiten brauch
wenn man will.[16]
マン ヴィル

12. Ich kann nicht mit dir
カン ディーア
sehr gern, und ich darf
ゼーア ゲルン ダルフ
nicht gehe.

の他の社会を(現在のよりも少し変
1つの別な, より良い運命を,
Staat 1つの新たな, より良い
Geschichte 歴史 ist である。

11. wir 我々が in einer neuen Z
は, wir 我々が andere Wah
る daß ということ, Es そのこ
中に liegt 横たわっているの
anderen Zeiten 他の時代に
必要とする daß という, die
wenn man will 世人が欲す
言ったって差し支えないが),
る mag かも知れない (新た

12. Ich 僕は mit dir 君と共に
できない。Ich 僕は natürl
[行くことを] 欲する, und
しいのである。Aber しか

den, sie suchen die Sachen
デン　ズーヘン

smann [例の]金持
will. . . sprechen
学生) は natürlich
en 自分の名前を
を [して] nur た
人達[のうち]の
許される ob か

ihrer Studen-
sollen べきだ
びおとす muß

, ihr Dasein
命を für eine
見なしている,
自分達の存在
人間ども) は
lschaft 1 つ

12. Ich kann nicht mit dir ins Kino gehen. Ich will natürlich
カン　ディーア　キーノ
sehr gern, und ich darf es auch. Aber es ist besser, daß ich
ゼーア　ゲルン　ダルフ　アオホ　ベッサー
nicht gehe.

の他の社会を(現在のよりも少し変わった社会を), ein anderes, besseres Schicksal 1 つの別な, より良い運命を, zum Beispiel たとえば einen neuen, besseren Staat 1 つの新たな, より良い国家を suchen 求めるのである。Das これが die Geschichte 歴史 ist である。

11. wir 我々が in einer neuen Zeit 1 つの新たなる時代に leben 生きる wenn 時には, wir 我々が andere Wahrheiten 他の [変わった] 真理を brauchen 必要とする daß ということ, Es そのことは des Menschen 人間の in der Natur 本性の中に liegt 横たわっているのである (人間本来の性質である)。wir 我々が in anderen Zeiten 他の時代においては andere Wahrheiten 他の真理を brauchen 必要とする daß という, diese この meine 私の Behauptung 主張 auch も又, wenn man will 世人が欲するならば(=もし強いてそう言えとおっしゃるならば, 言ったって差し支えないが), eine neue Wahrheit 1 つの新たな真理 sein である mag かも知れない (新たな真理であると見るなら見てもよろしい。)

12. Ich 僕は mit dir 君と共に ins Kino 映画館へ gehen 行くことが kann nicht できない。Ich 僕は natürlich もちろん sehr gern 非常によろこんで [gehen] will [行くことを] 欲する, und かつ ich 僕は es それを auch また darf [為して] よろしいのである。Aber しかし, daß ich nicht gehe 僕が行かないこと, es それが

14. Du[18] kannst nicht, weil du nicht willst. Du willst nicht,
カンスト　ヴィルスト
obgleich du darfst. Wenn du einmal willst, dann kannst du,
ダルフスト　アインマール
und dein Schicksal bekommt ein ganz anderes Gesicht. Und
ベコムト　ゲズィヒト
wenn der Himmel will, bist du morgen schon ein großer Mann!
ヒンメル　ヴィル　モルゲン　ショーン　グローサー　マン

---

ist besser よりよいのである(どっちかといえば，まあ行かない方がよいのである)。

13. ich 私が in Deutschland ドイツに eine sehr schöne Freundin 1人の非常に美人のガールフレンドを habe 持っている daß ことを，ich 私が ihnen (=Freunden) 彼らに erzähle 話す wenn と，Meine alten Freunde 私の旧友達は es それを gewöhnlich 普通 ein Märchen おとぎばなし für と halten 考える (本当にしない)。Das それは auch また ganz ごく natürlich 自然 ist である，sie 彼らは es そんなことを mir 私に glauben 信ずることが können . . . nicht できない，denn なぜならば in unserer Zeit 我々の時代においては man ひとは so leicht そんなに簡単には eine Freundin ガールフレンドを in Deutschland ドイツに haben 持つことが kann nicht できない。

14. Du お前は，weil du nicht willst お前が欲しないが故に，kannst nicht できないのだ。Du お前は，obgleich du darfst お前が許されてあるにもかかわらず(やっても一向構わないのに)，willst nicht 欲しないのだ (やる気にならないのだ)。Wenn もし du お前が einmal ひとたび willst 欲する [ときは]，dann その時は kannst du お前はできるのだ，und そして dein Schicksal お前の運命は ein ganz anderes Gesicht 1つの全く別個なる顔付きを bekommt 得る [呈するに至る] のだ。Und そして wenn der Himmel will もし天が欲するならば (運次第では)，du お前は morgen 明日は schon 既に ein großer Mann 大人物 bist である (に成るのだ)！